

令和5年度 第2回学校評価 (12月実施) 結果

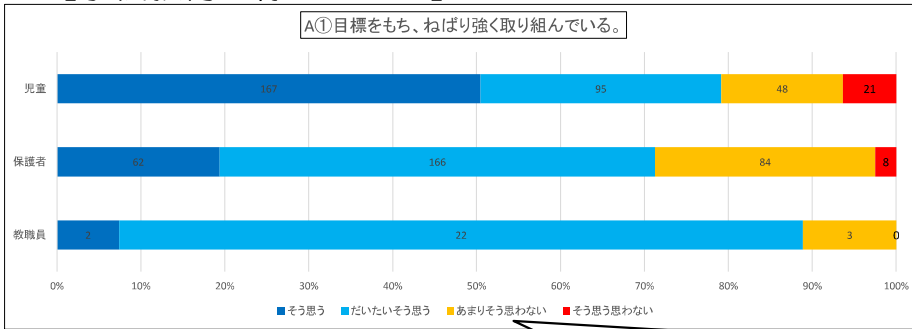
重点目標 教育目標「ゆめをもって 自分らしく はつらつと生きる子」

- ・ なかよく思いやりのある子
- ・ わたしもあなたも健康な子
- ・ かんがえを深め学び続ける子
- ・ がんばりがきき、ねばり強い子

※ 児童アンケート⇒「わたしは」、保護者アンケート⇒「わたしの孩子是」、教職員アンケート⇒「中川小の児童は」で書き出しています。児童用は、低・中・高学年用に分けています。

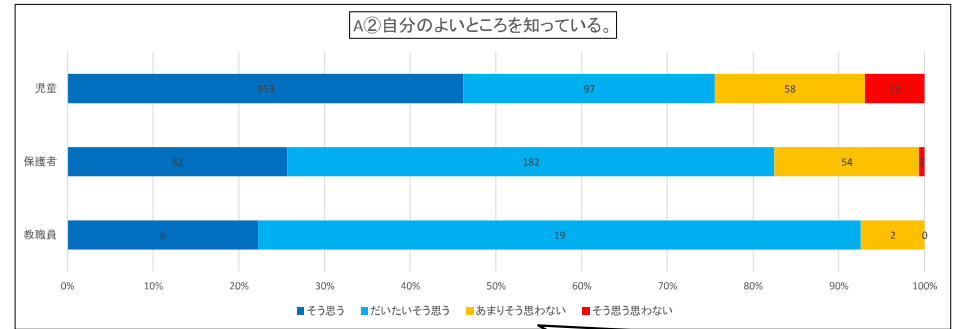
「そう思う」「だいたいそう思う」の合計が70%以上 ⇒ ○ 評価が良い項目
 「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が30%以上 ⇒ ● 評価が良くない項目
 ⇒ ……今後の取り組み

A【学校教育目標について】



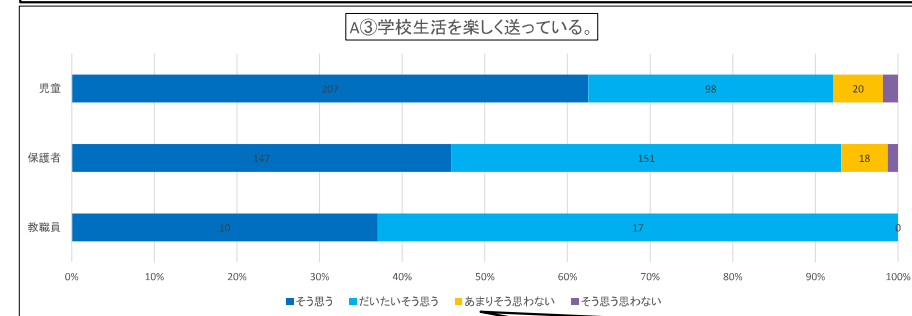
項目1「目標をもち、ねばり強く取り組んでいる」

[分析]
 児童の評価が、前回より少し落ちました。反面、保護者や教員の評価は上がっています。普段の学習活動だけでなく、学校行事等に向けて頑張る姿を認めることができた成果かと思えます。
 [今後の取り組み]
 引き続き、子供たちが頑張りたいくなる学習活動や行事を設定していくとともに、子供たち自身の達成感をより実感できるような声掛けや振り返りを工夫していきます。



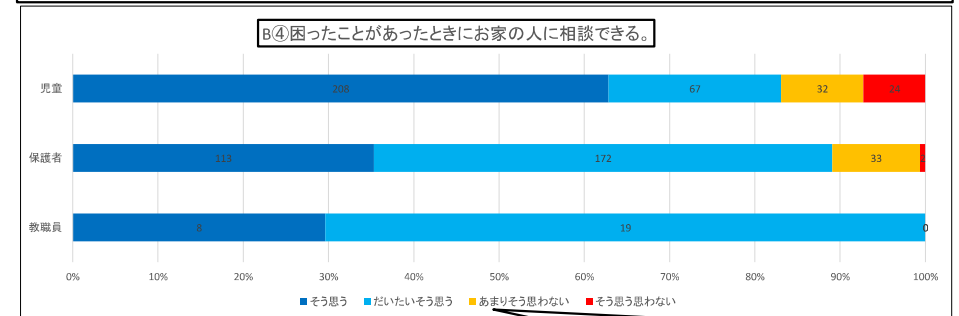
項目2「自分のよいところを知っている」

[分析]
 前回と比べ、全体的に高評価が少し増えました。教員から、保護者から、友達同士で、自分のよさを認めることができるような声掛けが増えてきていると思います。
 [今後の取り組み]
 引き続きスマイルカードに定期的に取り組み、自己肯定感を高めさせていきます。スマイルカードは、他者理解の力を育むので、他者への理解から自分自身を見つめ直す材料にもなることが期待できます。



項目3「学校生活を楽しく送っている」

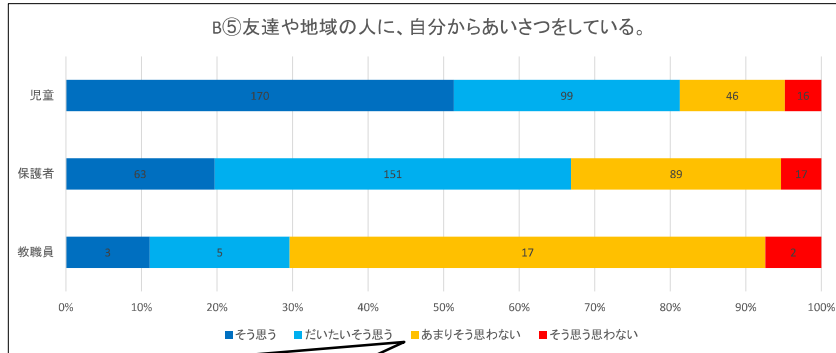
[分析]
 前回より、児童の評価が向上しました。前回、低評価だった児童の何人かは楽しいと評価しました。
 [今後の取り組み]
 学校ならではの、友達や教員と過ごしたり活動したりする時間が楽しくなるような取り組みをしていきます。また、子供たち一人一人が自分の居場所を感じられるような人間関係作りも、道徳科や学活を中心とした学習の中で培っていきます。日々の生活の中で、子供たち一人一人に寄り添った支援ができるよう、より意識して活動していきます。



項目4「困ったことがあったときに先生やお家の人に相談できる。」

[分析]
 全てのカテゴリーで、評価が向上しました。特に、保護者と教員の評価の向上幅が大きかったです。しかし、まだ児童の約17%は低評価(相談できる人がいない・できない)でした。
 [今後の取り組み]
 学校生活アンケート・いじめアンケートなど、相談できる場を設けていく中で、いつでも相談をしやすい関係作りや環境づくりに努めていきます。些細な会話の中から、子供たち一人一人の気持ちの変化を感じ取り、不安や悩みごとの解消の手助けができるよう、意識していきます。それが、いじめ等の早期発見につながると思います。

B【生活について】



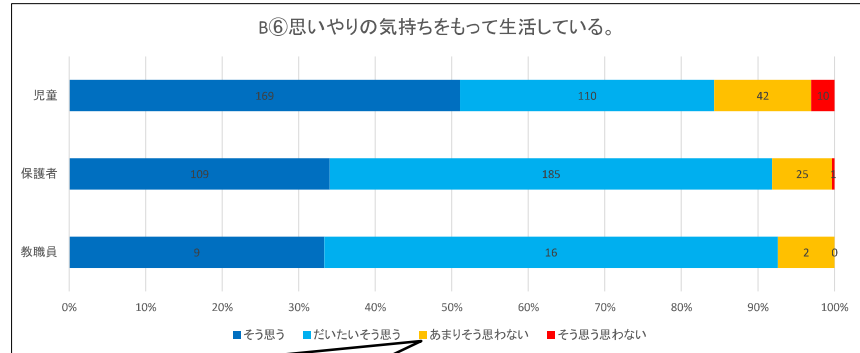
項目5「友達や地域の人に、自分からあいさつをしている」

[分析]

全体的に高評価が少し増えていますが、依然としてあいさつは課題です。普段の生活の中で、あいさつを意識して行っている児童は増えていますが、「自分から」できる児童はまだまだ少ないです。

[今後の取り組み]

教員が率先して「よいあいさつ」を見せていき、相手に伝わるあいさつを心掛けるようにさせていただきます。委員会活動や全校朝会等でも呼び掛けていきます。あいさつはコミュニケーションの基本ですので、自分からすることのよさを実感できるような支援を工夫していきます。



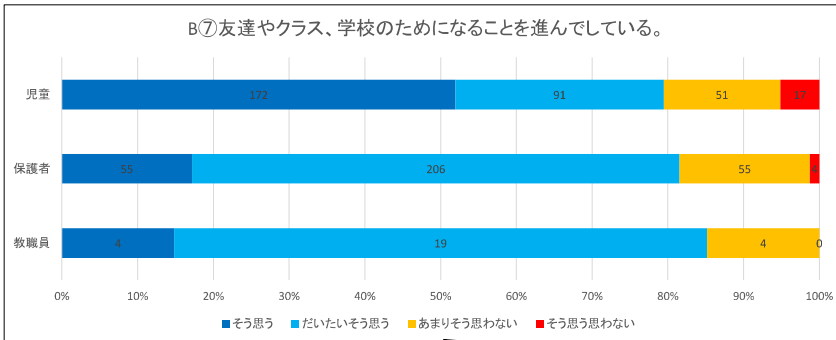
項目6「思いやりの気持ちをもって生活している」

[分析]

前回の調査から、大きな変動はありませんでした。保護者、教員からは、高評価でした。

[今後の取り組み]

引き続き、学校では子供たちのよい表れを賞揚し、思いやりの気持ちをもって接することのよさや大切さを実感させながら活動していきたいと考えています。道徳科や学活の授業を中心に、お互いが相手の気持ちを考えて行動することが、よりよい人間関係を構築していくことにつながるということを学ばせていきます。



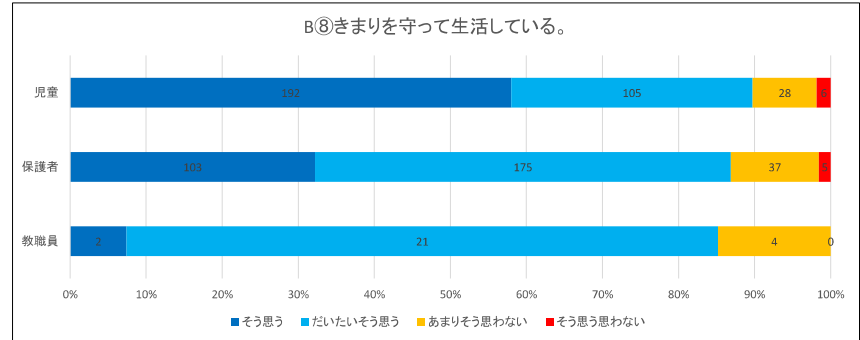
項目7「友達やクラス、学校のためになることをしている」

[分析]

全体的に評価が向上しました。特に、保護者からの高評価が1割近く増えました。

[今後の取り組み]

今後も、子供たちの頑張りやよさを保護者に発信し続けていくことで、普段は見られない学校での子供たちの様子を認めてあげられるようにしていきたいです。お互いの信頼関係をより強固にしていくとともに、子供たちは集団としての自覚を高め、自分の役割を果たそうとする意識をもってほしいと思います。



項目8「きまりを守って生活している」

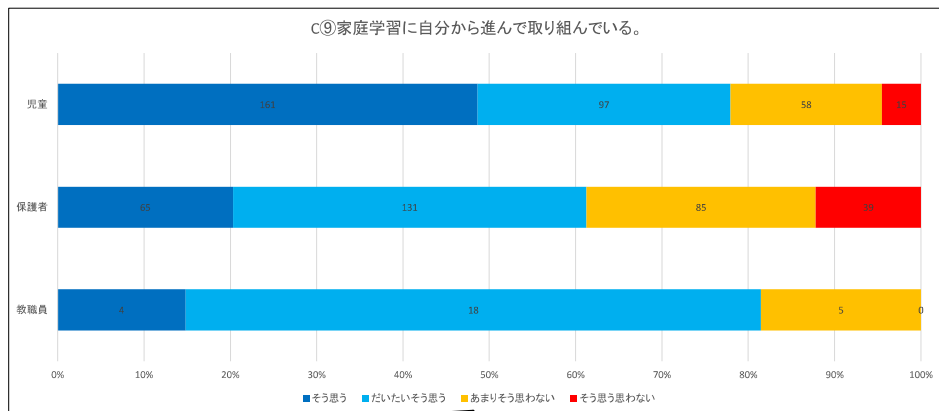
[分析]

児童の評価は向上しましたが、保護者と教員の評価は低下しました。

[今後の取り組み]

道徳科や学活などで、きまりを守ることを考えさせ、守ることが自分や周りの友達を守ることにもつながることを理解させていきたいです。行動に移す前に、ふと立ち止まって「いいのかな」と考える習慣を付けさせていけるよう、支援していきます。

C【学習について】



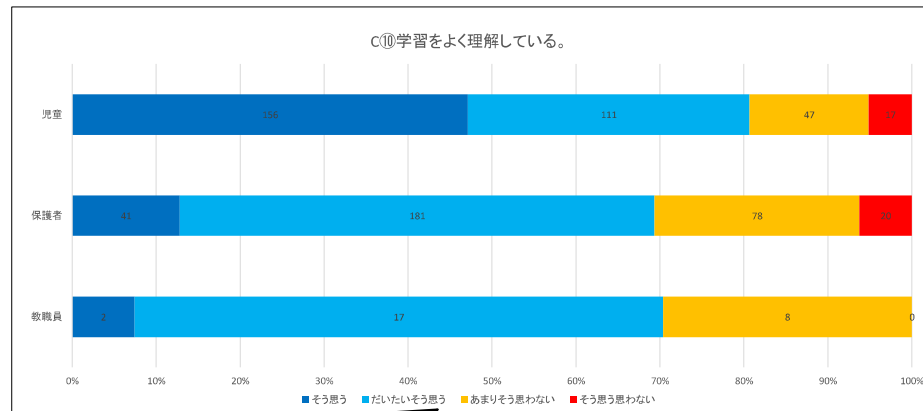
項目9「家庭学習に自分から進んで取り組んでいる」

【分析】

児童の評価は少し低下しました。保護者、教員は高評価が増えています。

【今後の取り組み】

家庭学習の量や内容は、学年ごとに実態を踏まえて検討しながら決めています。家庭での定期的な学習習慣を身に付けることは、学力の定着に不可欠なものです。多すぎても少なすぎても効果と意欲のバランスがとれません。教員はそのバランスを見極めて課題を出し、子供はねばり強く取り組み、保護者は頑張る姿を褒めてあげるといった姿を目指していきたいですね。



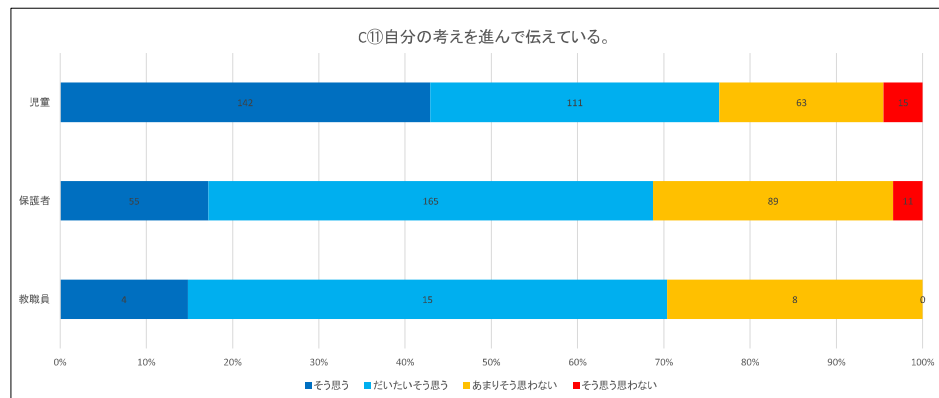
項目10「学習をよく理解している」

【分析】

教員の評価が大きく向上しました。児童の評価も、前回より向上しています。

【今後の取り組み】

教員は、研修等を通して子供たちにとってより深い学びにつながる学習過程の工夫をしてくれています。今後も、対話的な活動や、ICTを活用した授業など、協動的な学びを繰り返すことで、授業に集中し、楽しむことができる児童を増やしていきたいと思っています。



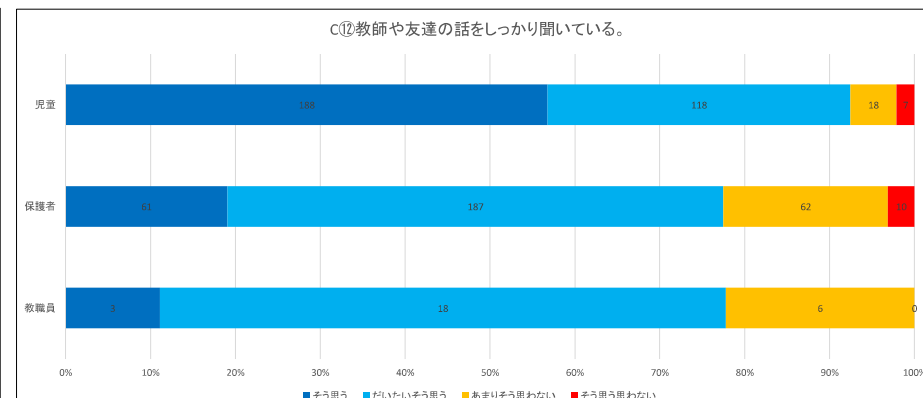
項目11「自分の考えを進んで伝えている」

【分析】

今回の調査で、最も大きく成果が上がった項目の一つと言えるかもしれません。全カテゴリーで評価が向上しました。特に、児童と教員は、高評価の割合が1割近く増えています。

【今後の取り組み】

継続して指導してきている、グループ学習やICT機器の活用による協動的な学びの工夫など、徐々に成果が表れてきているようです。子供たち一人一人が自分の考えを伝えあい、認め合ったり、相手の考えを受け入れることで自分の新たな気づきにつなげたりすることで、自分の考えを伝える楽しさを実感できているのだと思います。今後も、さらなる向上を目指して取り組んでいきます。



項目12「教師や友達の話をしっかり聞いている」

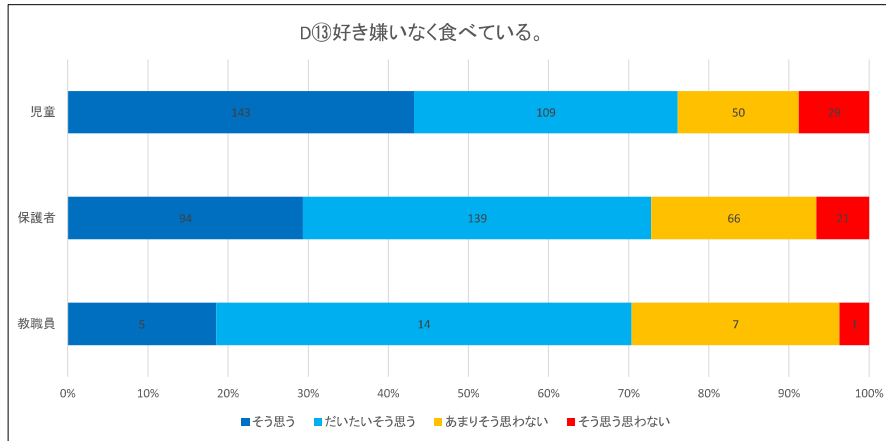
【分析】

児童、教員ともに評価が大きく向上しました。聞くことの大切さを理解できているのだと思います。

【今後の取り組み】

聞いたことを理解し、その後の自分の活動に反映させたり、自分なりに学んだりすることには個人差があると思います。聞いて得た情報をどう活用できるか、日々の学習活動の中で継続的に考えさせ、支援していくことが今後も必要だと考えます。

D【健康・安全について】



項目13「好き嫌いなく食べている」

[分析]

児童、教員の評価がともに向上しました。特に、教員からの評価が大きく向上しています。給食の残菜も減ってきていることから、自分が決めた量を食べることができるようになった児童が増えているのだと思います。

[今後の取り組み]

給食でも、御家庭でも、子供たちがいろいろな食材をおいしく食べられるように工夫して用意してくださっていると思います。子供たちに食育の大切さを伝えながら、おいしく何でも食べられるような食生活を身に付けることができるよう、今後も連携して支援していきたいと考えます。

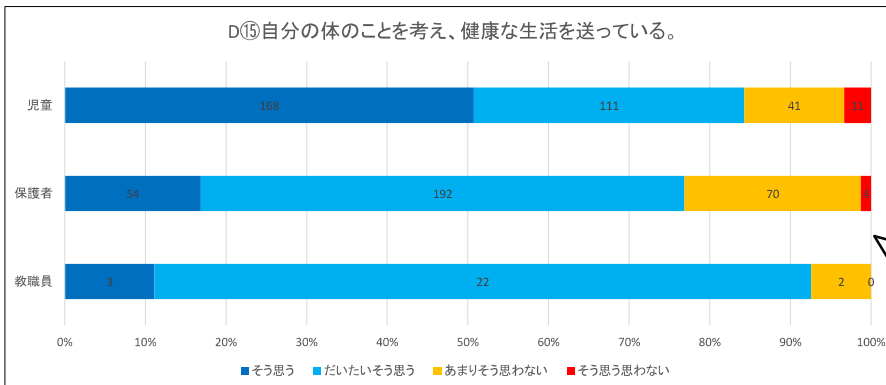
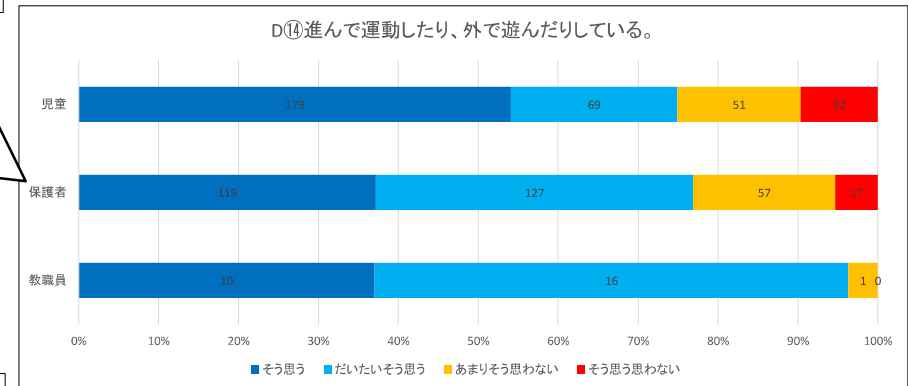
項目14「進んで運動したり、外で遊んだりしている」

[分析]

児童の評価が少し向上したものの、あまり大きな変化はありませんでした。暑い日や寒い日もありましたが、天気の良い日は外で元気に遊ぶ児童の姿が多く見られました。

[今後の取り組み]

児童の約4分の1は低評価だったので、その子たちにいかにして運動習慣を身に付けさせていくかが課題だと思います。毎日だけでなく、進んで外遊びをしたいと思えるような取り組みを、委員会などから提案していけるとよいと思います。



項目15「自分の体のことを考え、健康な生活を送っている」

[分析]

保護者の評価は少し向上しましたが、児童の評価は少し低下しました。感染症対策も個人判断中心となり、以前ほど対策が厳しくないことも影響しているのかもしれませんが。

[今後の取り組み]

感染症対策もそうですが、健康な生活を送るためには、運動・食育・保健などの観点からの取り組みが必要です。委員会活動では、給食週間などの機会を活用して健康的な生活を送るためのアドバイスをしていきます。各御家庭におかれましても、基本的な生活習慣の徹底に引き続き御協力ください。